

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

挑戦する個人・企業を応援し、すべてのステークホルダーと感動体験を共有し、より良い世界を創造する

2 中長期の経営戦略

1. 不動産事業の強化

レジデンス事業で豊かな居住空間の実現を追求。賃貸管理戸数の拡大とDX推進、家賃保証事業の拡大、自社保有物件取得により付加価値向上を目指す

3. 投資事業の収益転換

南・東南アジアのスタートアップ対象ファンド設立を準備。投資リターン中心から、ファンド運営による手数料収入（マネジメントフィー）重視の安定的収益モデルへ転換

2. ホテル事業の地域連携

地方創生・地域活性化をテーマに、地域の魅力引き出しと観光資源連携を推進。成田ゲートウェイホテル、倉敷ロイヤルアートホテル、ホテル・アローレのそれぞれ特性を活かした戦略的運営

4. グループシナジー創出

3事業の強みを活かし、不動産・ホテル・投資分野のインバウンド投資需要を捉え、投資家と案件をつなぐファシリテーター役を実現

3 対処すべき課題

① グループ経営管理の強化

- ・ 7社連結子会社の経営状況を適時把握し、経営管理を強化
- ・ 事業執行権限の見直しと業務報告体制の整備を実施
- ・ グループ間資金管理の一元化で効率的事業基盤を確立

② 内部経営資源の活用

- ・ グループ情報共有化と幹部間情報交換体制の確保
- ・ 社員研修によるグループ共通人材育成でシナジー追求

③ 内部統制・コンプライアンス体制

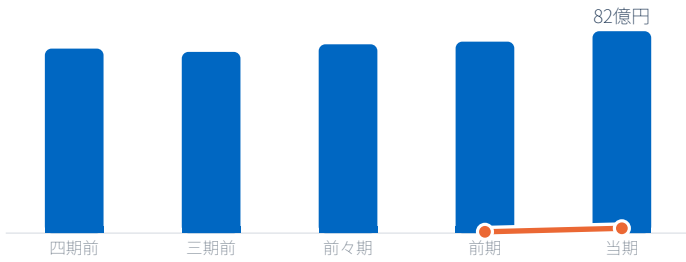
- ・ 会社法・金融商品取引法に基づく業務プロセス文書化・可視化
- ・ 企業行動憲章・社員行動規範の周知徹底と研修実施

面接で使えるポイント

- ・ 子会社7社と関連会社1社で不動産・ホテル・投資3事業を展開し、日本とアジアをつなぐゲートウェイ役を担っている
- ・ レジデンス事業で賃貸管理戸数を拡大し、デジタルトランスフォーメーション推進による付加価値提供を目指す
- ・ 南・東南アジアのスタートアップ対象ファンド設立準備を進め、マネジメントフィー重視の安定収益モデルへ転換

証券コード 9816

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
82億円営業利益率
2.4%財務健康度
31点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 41.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
542万円
不動産業内 106位/130社平均年齢
34.9歳
不動産業内 106位/131社平均勤続
4.2年
不動産業内 99位/131社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ストライダーズ[9816]: (開示事項の経過) 当社連結子会社

